

## 令和7年度南陽幼稚園 第3学期保護者アンケート集計結果

### 1. アンケート集計結果の概要

全体として、園の教育方針や保育内容に対して**極めて高い満足度**が得られています。

- **教育目標と保育内容:** 「教育目標に沿った教育」「年齢に合わせた活動」「子どもの園生活の充実」の項目では、ほぼ全ての保護者が「はい」と回答しており、教育の質が高く評価されています。
- **教職員の対応:** 教諭が子どもの個性や良いところを把握している点（「はい」121名）や、日頃のコミュニケーション（「はい」117名）についても強い信頼が寄せられています。なお、昨年度の課題であったと思われる「教職員の対応のバラツキ」については、改善した（44名）またはバラツキを感じていない（62名）という回答が多数を占めています。
- **環境・安全・食育:** 園の環境安全対策、給食・食育についても、大多数が適切であると回答しています。
- **情報発信:** 園だよりや Google フォト、ホームページ等による園の様子発信についても、121名が「はい」と回答しており、視覚的な情報共有が満足度に繋がっています。

---

### 2. 自由記入欄のまとめ

自由記入からは、数値化できない具体的な成長への感謝と、今後の運営に向けた建設的な要望が読み取れます。

#### ① 子どもの成長と園生活への感謝

- **心身の成長:** 入園当初の行き渋りが解消し、今では自ら進んで登園する姿や、思いやりの心、集団生活でのルール習得など、著しい成長を喜ぶ声が各学年から寄せられています。
- **行事を通じた感動:** 発表会や運動会で見せた姿に、先生方のきめ細かな指導への感謝が述べられています。
- **給食への評価:** 園の給食が大好きで、家では食べない野菜を食べるようになったという報告が多く、食育の効果が実感されています。

#### ② 園への要望および改善の提案

自由記入では、以下の点について具体的な改善・検討を求める意見がありました。

- **安全管理面:**
  - **駐車場:** 送迎時の保護者同士の立ち話による危険や、逆走車両への注意喚起の要望があります。
  - **園庭の設備:** 園庭にある水溜めや土管のような設備について、転落の危険を心配する指摘がありました。

- **持ち物:** 水筒の肩掛け紐による転倒時の負傷リスクを懸念し、袋に入れる等の対策についての相談がありました。
  - **コミュニケーション・情報共有:**
    - **告知の早期化:** 行事予定（特に未就園児クラスと園児の区別）や、降園時間の変更、預かり保育の詳細など、保護者が予定を立てやすいよう早めの周知が求められています。
    - **写真・動画:** 参観日での撮影許可や、行事の練習風景の動画配信、販売DVDの継続を希望する声があります。
  - **組織・運営面:**
    - **役員負担:** 働く保護者が増える中、役員選出の基準（未経験者優先等）や、活動内容の明確化を求める意見があります。
    - **教育カリキュラム:** 他園の事例を挙げ、英語教育の導入を検討してほしいという提案がありました。
    - **延長保育:** 延長保育のお迎え時の挨拶や対応について、より丁寧なコミュニケーションを望む声がありました。
- 

### 3. 学校評価委員会への提言（まとめ）

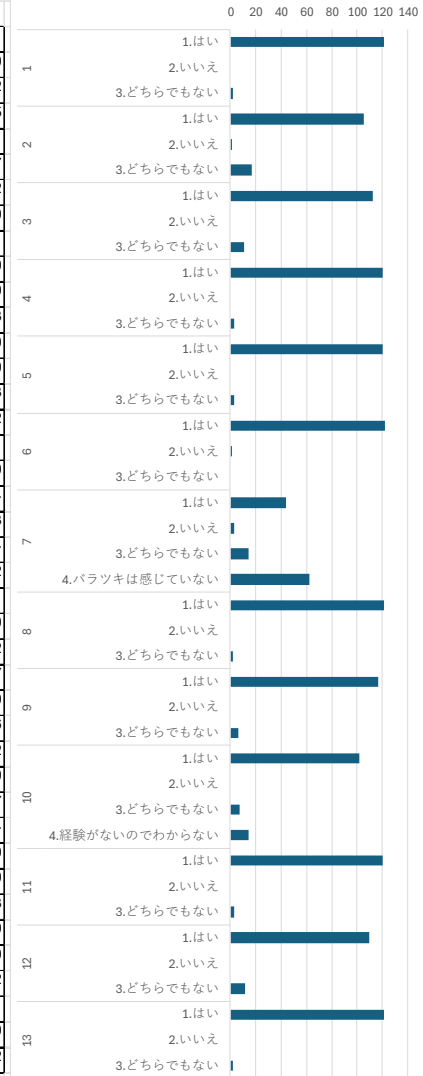
今回のアンケート結果から、「教職員と保護者の信頼関係」と「子どもの成長実感」が本園の大きな強みであることが再確認されました。一方で、安全面（駐車場・設備）の再点検、重要事項の早期情報提供、および保護者の負担感に配慮した役員制度の検討が、次年度に向けた改善のポイントとなります。

# 令和7年度三学期保護者アンケート

123/166 家庭

1.教育目標（かしこい子ども・つよく元気な子ども・やさしい子ども）に沿った教育がされている	1.はい	121
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	2
2.園の環境は安全な対策がとられている	1.はい	105
	2.いいえ	1
	3.どちらでもない	17
3.登園降園時に、お子さんの受け入れ・引き渡しは適切に行われている	1.はい	112
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	11
4.お子さんの意欲を促すような遊具・玩具・遊びが十分に用意されている	1.はい	120
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	3
5.お子さんの年齢に合わせた活動・遊びが行われている	1.はい	120
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	3
6.お子さんは園生活を楽んでいる	1.はい	122
	2.いいえ	1
	3.どちらでもない	0
7.教諭や職員の対応のバラツキが改善している	1.はい	44
	2.いいえ	3
	3.どちらでもない	14
	4.バラツキは感じていない	62
8.教員はお子さんの良いところや個性を把握している	1.はい	121
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	2
9.クラスだよりや個人面談・日頃の会話や電話等でお子さんの様子を知らることができている	1.はい	117
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	6
10.急な発熱など病気への対応、事故・ケガへの対応は適切にできている	1.はい	102
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	7
	4.経験がないのでわ	14
11.子供の成長を考えた給食・食育がされている	1.はい	120
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	3
12.子どもや保護者からの要望・意見をもとに園の改善が行われている	1.はい	110
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	12
13.園だより・学年だより・グーグルフォト・HP等で園の様子が発信されている	1.はい	121
	2.いいえ	0
	3.どちらでもない	2

## 令和7年度三学期施設 自己評価アンケート



## 令和7年度南陽幼稚園 第3学期教職員自己評価集計結果

南陽幼稚園における令和7年度三学期の自己点検・自己評価の結果に基づくと、教員の研修や自己研鑽に関する評価状況は以下の通りです。

全体として、専門知識の習得や人間的な研鑽には一定の努力が見られるものの、「研修会への積極的な参加」や「不得意分野への取り組み」については、他の項目と比較して「C」評価（課題あり）の割合がやや高い傾向にあります。

### 1. 研修・研究会への参加状況

研修への参加姿勢については、自己課題を持って取り組む姿勢や、不得意分野への挑戦において改善の余地が示されています。

- 自己課題を持った研修参加:
  - 正職員: B評価（4名）に対し、C評価（7名）が上回っており、能動的な参加に課題を感じている状況が伺えます。
  - パート職員: B評価（7名）、C評価（5名）となっています。
- 不得意分野の研修:
  - 正職員: C評価（8名）が最も多く、積極的に取り組んでいる（B評価：4名）層を上回っています。
  - パート職員: こちらもC評価（7名）がB評価（5名）より多くなっています。

### 2. 専門性の向上と保育観の確立

技術面だけでなく、知識や内面の研鑽に関する評価は以下の通りです。

- 専門知識・技能の習得:
  - 正職員: B評価（6名）、C評価（4名）、A評価（2名）と分かれています。
  - パート職員: B評価（8名）が中心ですが、C評価（2名）も見られます。
- 幼児観・保育観の確立:
  - 正職員: B評価（6名）、C評価（4名）となっており、技術習得以上の深い研鑽に努めています。
  - パート職員: B評価（10名）と、多くの職員がこの項目に努めていると評価しています。

### 3. 人間としての研鑽・情報収集

仕事以外での自己研鑽や、多角的な情報収集についても評価対象となっています。

- 人間としての研鑽（趣味や社会への関心）:

- **正職員**: 大半が B 評価（8 名）以上ですが、D 評価（1 名）も存在します。
- **パート職員**: A 評価（4 名）、B 評価（7 名）と、比較的高評価です。
- **書籍やメディアを通じた情報収集**:
  - 保育誌だけでなく、あらゆる媒体に注目しようとする姿勢については、正職員・パート職員ともに B 評価から C 評価に分布しており、さらなる意識向上が期待される状況です。

このように、日々の保育における専門性の向上には努めているものの、自ら課題を見つけて研修に参加したり、苦手な分野を克服しようとしたりする積極性の面で、より一層の努力が必要であると認識されています。

令和7年度三学期 南陽幼稚園 自己点検・自己評価

正職員

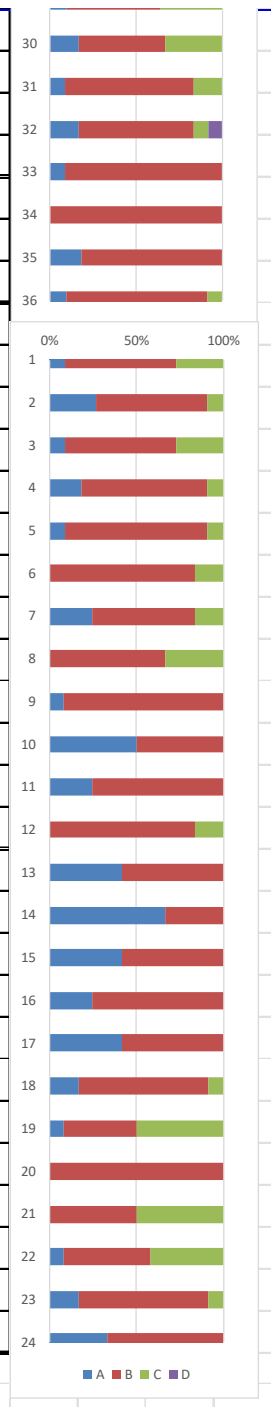
A,B,C,Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください

氏名

A:当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない

項目	教育関係 内容	評価				R6年度2学期自己評価
		A	B	C	D	
計画力	1 本園の教育目標等を意識し、週や日々の活動計画を立てている	1	10	0	0	
	2 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	1	10	0	0	
	3 幼稚園教育要領および園の教育課程を理解している	1	8	2	0	
	4 園の教育理念や幼稚園教育要領を踏まえた指導計画を立てている	1	7	2	0	
	5 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している	1	7	2	0	
	6 安全で清潔感のある環境構成をしている。	1	10	0	0	
	7 幼児の自発的活動を引き出す用具や材料などを適切に準備し配置している	1	8	0	1	
	8 楽しい雰囲気の中で安定して遊び込める環境構成になっている	2	8	1	0	
	9 自分の保育と計画の評価・反省を日々行うように努めている	1	9	1	0	
	10 評価・反省したことは、次の保育・計画に生かすようにしている	2	8	0	0	
実践力	11 一人ひとりの幼児をよく観察するよう心がけている。	5	5	1	0	
	12 一般的発達理論の他、特別支援教育など特殊な発達段階についても理解している。	1	5	5	0	
	13 幼児同志のかかわりにも目を配るなどして、友達関係を把握している。	3	8	0	0	
	14 一人ひとりの興味や関心をもっていることを理解している。	2	8	2	0	
	15 体調不良の幼児に休息をとらせたり家庭へ連絡するなど適切な処置をしている。	6	5	0	0	
	16 健康面や安全面で、幼児へ気をつけるよう適切な言葉かけができています。	2	9	0	0	
	17 園内で危険が予想される箇所を把握し、事故等の予防に努めている。	0	11	0	0	
	18 幼児と共に活動し、また共感し、満足感や心の安定を与えている。	2	9	0	0	
	19 善悪の判断や思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。	2	8	1	0	
	20 教育情報を収集し保護者等の意見を聴いて、常に保育内容を見直している。	0	8	2	0	
	21 品位のある言葉や思いやりのある態度など幼児のモデルとなるよう心がけている。	1	11	0	0	
	22 幼児の話に耳を傾け、言葉にならない思いをも理解するよう心がけている。	1	11	0	0	
	23 幼児が自発的に活動できるような言葉かけや働きかけに努めている。	3	7	2	0	
	24 教室の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	0	10	2	0	
	25 幼児の健康状態について、日常的に視診するとともに配慮がなされている。	2	9	0	0	
	26 日常的に保護者と幼児に関する情報交換がなされ、意志疎通ができています。	3	8	0	0	
	27 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。	1	4	7	0	
	28 自分の得意な分野だけでなく、不得意な分野についても積極的に研修している。	0	4	8	0	
	29 保育技術の習得に止まらず、幼児観や保育観の確立にも努めている。	1	6	4	0	

30	機会あるごとに幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけようと努力している。	2	6	4	0	30
31	仕事の手順をよく考え、能率よく処理するよう努めている。	1	9	2	0	31
32	仕事外でも社会に目を向けたり趣味を深めるなど人間としての研鑽に努めている。	2	8	1	1	32
33	同僚や保護者とも積極的に交わる中から多くを学ぼうと努めている。	1	11	0	0	33
34	園の行事等のタイム・スケジュールを適切に管理できる。	0	11	0	0	34
35	一日の保育の流れや自分の職務の流れなど時間管理ができる。	2	9	0	0	35
36	園日よりクラスだよりなどの保育情報を確に管理できる。	1	9	1	0	36
素養関係 内容						
1	家庭との連携が密で、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握している。	1	7	3	0	1
2	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を聞いて耳を傾けている。	3	7	1	0	2
3	保護者の子育てで不安を理解し、積極的に子育て相談にも応じている。	1	7	3	0	3
4	クラスだよりや連絡帳などを工夫して、幼児の様子を知らせている。	2	8	1	0	4
5	事故や問題が起きた場合の、保護者への説明や対応が迅速かつ確である。	1	9	1	0	5
6	地域の人材や施設や自然などを保育に組み入れようとする意識を持っている。	0	10	2	0	6
7	保育の向上に向けた職員同士のチームワークができている。	3	7	2	0	7
8	何でも気軽に園長や主任教諭などの上司に報告・連絡・相談ができる関係をつくっている	0	8	4	0	8
9	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉がけや対応をしている。	1	11	0	0	9
10	出入り業者など、どんな来園者に対しても、いつも明るく対応している。	6	6	0	0	10
11	丁寧な言葉で電話応対し、受けた伝言はメモして確実に伝えている。	3	9	0	0	11
12	平素から不審者等へは俊敏に対応できるよう心がけている。	0	10	2	0	12
13	服装・髪型・身だしなみなど、清潔感あるものを心がけている。	5	7	0	0	13
14	朝や帰りのあいさつなど、明るく親しみをこめてしている。	8	4	0	0	14
15	親しくなっても礼儀をきちんとわきまえ、アドバイスには素直に耳を傾けている。	5	7	0	0	15
16	園や教職員や保護者の批判は、軽はずみにしないよう心がけている。	3	9	0	0	16
17	いつも感謝の気持ちを忘れないようにしている。	5	7	0	0	17
18	「どんな仕事でも楽しむ」姿勢を前面に出せている。	2	9	1	0	18
19	常に大・中・小の三つの目標を持っている。	1	5	6	0	19
20	雑用でも手を抜かず、周囲の人間の仕事の状況も把握している。	0	12	0	0	20
21	不得手なことこそ積極的に取り組もうとしている。	0	6	6	0	21
22	保育誌だけでなく、あらゆる書籍やTVなど注目してみようとしている。	1	6	5	0	22
23	収集した情報を、保育に取り入れ活かそうとしている。	2	9	1	0	23
24	幼児等の個人情報を整理するとともに、情報保護には細心の注意をはらっている。	4	8	0	0	24



令和7年度三学期 南陽幼稚園 自己点検・自己評価						補助職員
A,B,C,Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください						氏名
A:当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない						
項目	教育関係 内容	評価				0% 50% 100%
		A	B	C	D	
計画力	1 本園の教育目標等を意識し、週や日々の活動計画を立てている	0	1	2	0	
	2 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	3	8	2	0	
	3 幼稚園教育要領および園の教育課程を理解している	2	8	3	0	
	4 園の教育理念や幼稚園教育要領を踏まえた指導計画を立てている	1	1	1	0	
	5 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している	0	0	3	0	
	6 安全で清潔感のある環境構成をしている。	3	3	1	0	
	7 幼児の自発的活動を引き出す用具や材料などを適切に準備し配置している	0	5	0	0	
	8 楽しい雰囲気の中で安定して遊び込める環境構成になっている	1	7	0	0	
	9 自分の保育と計画の評価・反省を日々行うように努めている	1	6	1	0	
	10 評価・反省したことは、次の保育・計画に生かすようにしている	2	6	0	0	
実践力	11 一人ひとりの幼児をよく観察するよう心がけている。	13	0	0	0	
	12 一般的発達理論の他、特別支援教育など特殊な発達段階についても理解している。	2	8	3	0	
	13 幼児同志のかかわりにも目を配るなどして、友達関係を把握している。	5	8	0	0	
	14 一人ひとりの興味や関心をもってしていることを理解している。	2	9	2	0	
	15 体調不良の幼児に休息をとらせたり家庭へ連絡するなど適切な処置をしている。	5	5	1	0	
	16 健康面や安全面で、幼児へ気をつけるような適切な言葉かけができています。	9	4	0	0	
	17 園内で危険が予想される箇所を把握し、事故等の予防に努めている。	4	9	0	0	
	18 幼児と共に活動し、また共感し、満足感や心の安定を与えている。	7	5	0	0	
	19 善悪の判断や思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。	8	5	0	0	
	20 教育情報を収集し保護者等の意見を聴いて、常に保育内容を見直している。	0	6	2	0	
	21 品位のある言葉や思いやりのある態度など幼児のモデルとなるよう心がけている。	5	8	0	0	
	22 幼児の話に耳を傾け、言葉にならない思いをも理解するよう心がけている。	11	2	0	0	
	23 幼児が自発的に活動できるような言葉かけや働きかけに努めている。	4	9	0	0	
	24 教室の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	1	3	3	0	
	25 幼児の健康状態について、日常的に視診するとともに配慮がなされている。	5	7	0	0	
	26 日常的に保護者と幼児に関する情報交換がなされ、意志疎通ができています。	0	2	4	0	
	27 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。	0	7	5	0	
	28 自分の得意な分野だけでなく、不得意な分野についても積極的に研修している。	0	5	7	0	
	29 保育技術の習得に止まらず、幼児観や保育観の確立にも努めている。	0	10	1	0	

実践力	30	機会あるごとに幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけようとしている。	2	8	2	0	30		
	31	仕事の手順をよく考え、能率よく処理するよう努めている。	6	6	0	0	31		
	32	仕事外でも社会に目を向けたり興味を深めるなど人間としての研鑽に努めている。	4	7	2	0	32		
	33	同僚や保護者とも積極的に交わる中から多くを学ぼうと努めている。	5	8	0	0	33		
管理能力	34	園の行事等のタイム・スケジュールを適切に管理できる。	2	6	2	0	34		
	35	一日の保育の流れや自分の職務の流れなど時間管理ができる。	5	7	0	0	35		
	36	園だよりやクラスだよりなどの保育情報を的確に管理できる。	0	5	2	0	36		
素養関係 内容			A	B	C	D	0%	50%	100%
関係性	1	家庭との連携が密で、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握している。	0	1	3	0	1		
	2	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いて耳を傾けている。	3	1	2	0	2		
	3	保護者の子育てを不安を理解し、積極的に子育て相談にも応じている。	1	2	2	0	3		
	4	クラスだよりや連絡帳などを工夫して、幼児の様子を知らせている。	0	1	2	1	4		
	5	事故や問題が起きた場合の、保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	1	2	2	0	5		
	6	地域の人材や施設や自然などを保育に組み入れようとする意識をもっている。	0	2	3	1	6		
	7	保育の向上に向けた職員同士のチームワークができている。	2	9	1	0	7		
	8	何でも気軽に園長や主任教諭などの上司に報告・連絡・相談ができる関係をつくっている	2	10	0	0	8		
	9	クラスに関係なく、その場にいる教師が適切な言葉がけや対応をしている。	8	3	1	0	9		
	10	出入り業者など、どんな来園者に対しても、いつも明るく応対している。	11	0	1	0	10		
	11	丁寧な言葉で電話応対し、受けた伝言はメモして確実に伝えている。	10	0	1	0	11		
	12	平素から不審者等へは俊敏に対応できるよう心がけている。	3	7	3	0	12		
適性	13	服装・髪型・身だしなみなど、清潔感あるものを心がけている。	11	2	0	0	13		
	14	朝や帰りのあいさつなど、明るく親しみをこめてしている。	13	0	0	0	14		
	15	親しくなくても礼儀をきちんとわきまえ、アドバイスには素直に耳を傾けている。	10	2	0	0	15		
	16	園や教職員や保護者の批判は、軽はずみにしないよう心がけている。	13	0	0	0	16		
	17	いつも感謝の気持ちを忘れないようにしている。	10	3	0	0	17		
	18	「どんな仕事でも楽しむ」姿勢を前面に出せている。	5	8	0	0	18		
	19	常に大・中・小の三つの目標をもっている。	2	2	9	0	19		
	20	雑用でも手を抜かず、周囲の人間の仕事の状況も把握している。	3	9	1	0	20		
	21	不得手なことこそ積極的に取り組もうとしている。	0	7	6	0	21		
	22	保育誌だけでなく、あらゆる書籍やTVなど注目してみようとしている。	0	9	3	0	22		
	23	収集した情報を、保育に取り入れ活かそうとしている。	2	8	1	0	23		
	24	幼児等の個人情報を整理するとともに、情報保護には細心の注意をはらっている。	5	4	0	0	24		

## 正職員とパート職員の自己評価の比較

正職員とパート職員の自己評価を比較すると、「幼児との直接的な関わり」や「基本的なマナー」においてパート職員の自己評価が非常に高い一方、「指導計画の作成」や「研修への主体性」については、正職員がより責任を負いつつも課題を感じているという特徴が見られます。

主な違いは以下の通りです。

### 1. 幼児への理解と関わり

幼児一人ひとりを観察し、その思いを汲み取る姿勢については、パート職員の自己評価が正職員を大きく上回っています。

- **幼児の観察:** パート職員は全員が「A (13名)」評価ですが、正職員は「A (5名)」「B (5名)」と分かれています。
- **言葉にならない思いの理解:** パート職員の多くが「A (11名)」評価であるのに対し、正職員は「B (11名)」評価が中心です。

### 2. 接遇・マナーと人間関係

挨拶や来客対応などの基本的な素養、および上司との関係性においても、パート職員の方がより自信を持って取り組んでいる傾向にあります。

- **挨拶とマナー:** 挨拶や来客・電話対応において、パート職員は「A」評価が圧倒的多数 (10~13名) ですが、正職員は「A」と「B」が半数ずつ、あるいは「B」評価が中心となっています。
- **報・連・相のしやすさ:** 園長や主任へ気楽に相談できる関係づくりについて、パート職員に「C」評価はいませんが、正職員には「C (4名)」が見られ、正職員の方が組織内のコミュニケーションに慎重な姿勢が伺えます。

### 3. 指導計画の作成と管理

専門的な計画立案や事務的な管理については、正職員が中心的な役割を担っており、評価の分布も異なります。

- **指導計画の作成:** 個々の幼児の発達状況に応じた計画作成について、正職員は多くが「B (7名)」評価で対応していますが、パート職員は回答数が少なく、また「C (3名)」評価のみとなっており、役割の違いが反映されています。
- **情報の管理:** 園だよりやクラスだよりの管理についても、正職員の方がより多くの人数が適切に管理できている (B評価以上) と回答しています。

### 4. 研修・自己研鑽への姿勢

研修への参加状況については、両者ともに課題を感じていますが、正職員の方がより厳し

い自己評価を下しています。

- **自己課題を持った研修参加:** パート職員は「B (7名)」が「C (5名)」を上回っていますが、正職員は「C (7名)」が「B (4名)」を上回っており、正職員の方が自らの主体性に対してより高いハードルを感じている状況が分かります。
- **不得意分野への取り組み:** 両者とも「C」評価が最も多い項目ですが、正職員は12名中8名が「C」評価としており、改善の必要性を強く認識しています。

総じて、パート職員は現場での幼児への共感や明るい対応に強みを持ち、正職員は園全体の運営や計画・管理という重責を担いながら、専門性の向上にさらなる意欲を見せているという構造が伺えます。